

優秀 5 会員・2 団体を総会で表彰



喜びの受賞者

敬称略・左から

横井幸雄

元田弘忠

豊田 實

入江敏行

川島精一

白岩信義

宮城智子

亀田俊彦

【22年度の受賞者】

亀田俊彦（音1）＝民謡・三味線の指導

川島精一（園4）＝神戸港ガイドで活躍

白岩信義（国7）＝区会活動に新境地

豊田 實（生4）＝神戸情報館での活躍

宮城智子（音2）＝福祉施設の友愛訪問

むかしあそび研究会＝伝統玩具の伝承

中央区会と真愛ホーム介助（連名表彰）

＝真愛ホームなどの支援

22年度のグループ わ 優秀会員の表彰式が5月19日、総会後に行われ、5人と2グループ（別表）に西田圭一理事長から表彰状と記念品が贈られました。会場では、受賞者の多彩な活動ぶりがプロジェクターを使って詳細に紹介され、盛大な拍手を浴びました。

グループ わ の表彰制度は、個人で7年、団体では5年以上のボランティア活動歴があり、個人やグループから推薦のあった候補者を対象に、運営委員会投票により選考し理事会で決定されます。（受賞者の活動内容は、54号に掲載しています）

感激です……受賞者の声

▼亀田俊彦 カレッジに入学し、阪神大震災に遭遇した時、ボランティア活動を知りました。「三味線と一緒に」のグループを立ち上げ、仮設住宅などへ慰問に出かけて皆さんと喜びを共にしたことがきっかけです。好きなことでの社会奉仕の活動をお認め頂き感謝感激です。

▼川島清一 ボランティア活動は一つの楽しみでもあり、生活の中における励みにもなっております。かつては、淡路花博の剪定ボランティアなどに従事することができましたが、近年は、体力が衰え、歴史の勉強、地域の方々との交流に楽しみを見い出しております。

▼白岩信義 この度のプルトップ収集などでの受賞は、日頃の東灘区会を始め皆様方のご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。ASAの車椅子贈呈運動も、ここしば

らくは東日本大震災支援にあたるとのこと。頂いた副賞も義援金とさせていただきます。今後とも「プル」収集に更なるご支援を強くお願いします。

▼豊田 實 平成12年3月、4期生（生環）としてカレッジを卒業しました。在学中は建学精神の「再び学んで社会に還元する」をモットーに学んできました。そのお陰でこの度 わ の優秀会員に選ばれ幸せに思っています。今、その喜びの中で思うことは、人生とは、生き甲斐とは、誠心誠意打ち込める仕事を頂き、働ける時こそ、しあわせであるということです。

▼宮城智子 ボランティアは、震災以来自分が元気を取り戻したい気持ちから始めた。其のお陰で病気は持っていたにも病人にならず今日まで元気に来られたことが、何よりの証し。ボランティアも仲間が居てこそ出来ると、確信します。多くの友が出来たのも、ボランティアのお蔭です。仲間感謝の一言です。

▼入江敏行（むかしあそび研究会） 発足10周年の記念すべき年に、私たちの長年の地道な活動に対し、優秀グループ表彰をしていただき有難うございます。会員全員の喜びです。これから会員の絆を大切に、昔遊びを通して子どもたちに愛と夢を育み、学校・地域等に貢献したいとの思いを新たにしています。

▼元田弘忠（中央区会） 優秀団体表彰の栄誉に浴し、中央区会として感謝いたしております。これも先輩会員を始め現会員の長年の活動が認められたもので、特に真愛ホーム介助については延日数、延人員とも群を抜いており、賀川記念賞の受賞もこうした活動の賜物と思っております。グループ活動は協調性が肝要であることを述べて受賞の想いとさせていただきます。

▼横井幸雄（真愛ホーム介助） 2007年K S C卒業と同時に福祉部会長を引き受けて、親愛ホーム介助の活動に参加した。 わ 設立10周年の年で、記念の行事の中、活動の歴史の重みを知った。コーラスの「なでしこ」から始まり、歌唱指導、マジック、介助と多彩な活動の歴史がある。中央区会とともに歴史を積み重ねて行きたい。